



製品安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名	パイレン®フィルム-OT :P2261
会社名	東洋紡績株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	フィルム品質保証部
電話番号	06-6348-3780
FAX番号	06-6348-3774
製品コード	P2261

2 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合
化学名(一般名)	ポリプロピレン
化学特性	安定で反応性に乏しい。

化学名(一般名)	ポリプロピレン
別名	PP
濃度	-
化学式	$-(\text{CH}_2\text{CH}(\text{CH}_3)-)_n-$
CAS番号	9003-07-0
官報公示整理番号	
化審法	6-402
安衛法	公表

危険有害成分	1%以上の危険有害成分および0.1%以上の発がん性物質を含まない。
PRTR法 指定化学物質	該当しない
安衛法 通知対象物	該当しない
毒物・劇物取締法	該当しない

3 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響	消防法で指定可燃物合成樹脂類であり、着火源があれば燃える。 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は小さい。 通常の状態では危険な反応や火災爆発を起こすことはないが、着火源があれば燃える。
特定の危険有害性	通常の状態では、特に有害性はない。燃焼した場合、一酸化炭素等の有毒ガスを発生する可能性がある。

4 応急措置

吸入した場合	成分は有害とはなりにくいですが、異常のある場合には医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	刺激があれば石鹸で洗う。万が一高温で熔融したポリマーが皮膚に付着した場合は、冷水で十分冷やす。皮膚に付着したポリマーは無理に剥がさない。不快感が残る場合は、医師の診断を受ける。
目に入った場合	直ちに清浄な水で5分以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

消火剤	水、粉末、二酸化炭素、泡消火剤、乾燥砂など
特定の危険有害性	不完全燃焼した場合、一酸化炭素等の有害ガスを発生する。
特定の消火方法	風上から、大量の水または消火剤等により消火する。
消火を行う者の保護	消火作業は風上から行う。 大規模火災の場合は呼吸用保護具を着用する。



製品安全データシート

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項

フィルム先端で皮膚等を傷つけたり、転倒したりする恐れがあるので、速やかに回収する。

環境に対する注意事項

環境への影響は小さいが、長期間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。

除去方法

箒や掃除機等で全量回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

加工中、静電気を発生することがあるので、静電気除去装置を必要な場所に適宜設置する。

溶剤等の引火による火災発生を起こすことがあるので近くでみだりに引火性の溶剤等を使用しない。

引火性の溶剤等を使用するときは特に局所排気、全体換気を確実に行う。静電気による放電が起きないように、生じた静電気は静電除去装置等により積極的に取り除く。

注意事項

フィルム先端が鋭くなり、皮膚等を傷つける恐れがあるので保護具を着用する。粉塵発生や溶融を伴う作業をする時は、局所排気・全体排気を行なう。

安全取扱い注意事項

人が転倒しないように歩行域からフィルムを取り除くよう留意する。

保管

技術的対策

重量物のため荷崩れ、落下を防止する。

混触禁止物質

強酸化剤、熱源、発火源

適切な保管条件

熱・発火源から離れた乾燥した場所で常温保管する。

安全な容器包装材料

紙または段ボール包装

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

粉砕など粉塵が発生する作業を行う場合には、静電気による粉塵爆発の危険性があるので、静電気除去装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

粉塵が多い場合は防塵マスクの着用が望ましい。

手の保護具

保護手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡の着用が望ましい。

皮膚及び身体の保護具

フィルム走行、溶融を伴う作業等では保護衣を着用する。

9 物理的及び化学的性質

物理的状態、色、臭い

プラスチック無色透明フィルム、無臭

pH

該当しない

融点

150～165℃

引火点

340～400℃

発火点

400～500℃

爆発特性

粉砕作業などで多量の微粉末が発生した場合、静電気による粉塵爆発の可能性はある。

密度

0.91g/cm³

溶解性

水 : 不溶

10 安定性及び反応性

安定性

常温では安定で反応性に乏しい。

反応性

溶融などの高温では一部熱分解する。着火源があれば燃える。

避けるべき条件

高熱、炎

避けるべき材料

強酸化剤

危険有害な分解生成物

燃焼/溶融などの高温では、一酸化炭素等の有毒ガスを発生する可能性がある。



製品安全データシート

11 有害性情報

急性毒性(LD₅₀等)
 局所効果(皮膚、目)
 亜急性毒性

具体的なデータはないが、急性毒性は低いと考えている。

同上

(1)マウスに安定剤を含まない粉末を8g/kgを投与したが何ら障害は認められなかった。¹⁾

(2)ラットに¹⁴Cでラベルした資料を経口投与した場合、その物質は体内に全く認められず、摂取量が完全に排除された。¹⁾

12 環境影響情報

残留性/分解性
 生体蓄積性
 環境影響

環境中で長期間残留すると考えられる。

ないと考えられる。

直接環境に影響する可能性は小さい。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

焼却:管理された焼却設備を用いて“大気汚染防止法”等にしがって焼却する。

埋め立て:廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)に従って、公認の産業廃棄物処理業者又は地方公共団体がその処理を行っている場合はその団体に委託して処理する。

汚染容器・包装

残余廃棄物と同じ。

14 輸送上の注意

法規制

国連分類他輸送に関する法規制には該当しない
 重量物の為、荷崩れ防止に注意する。

国内規制

輸送に関する法規制には該当しない。

15 適用法令

法規制

消防法の指定可燃物合成樹脂類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(産業廃棄物、廃プラスチック類)

食品衛生法(食品包装用途に使用する場合)

16 その他の情報

出典

1):食品用プラスチック衛生学

厚生省環境衛生局 食品化学課編(講談社)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。

制約事項



試験成績証明書



Japan Inspection Association of
Food and Feed Industry, Inc.

No. NOA01126 02 02 号

平成 25 年 5 月 22 日

依頼者

東洋紡 株式会社 殿

一般財団法人 食品環境検査協会



品名 パイレン フィルム P2161, P2261, P2761

〒650-0045 神戸市中央区港島3丁目2番地1号

付記事項: なし

平成 25 年 5 月 10 日に本会に依頼された上記供試品についての試験結果は下記の通りです。

記

試験結果

試験項目	試験結果	検出限界	試験方法	脚注
《材質試験》				
カドミウム	適	---	※1	※1
鉛	適	---	※1	※1
《溶出試験》				
重金属	適	---	※1	※1
過マンガン酸カリウム消費量	適	---	※1	※1
《蒸発残留物》				
ヘプタン	適	---	※1	※1
20% エタノール	適	---	※1	※1
水	適	---	※1	※1
4% 酢酸	適	---	※1	※1

試験方法

※1 食品、添加物等の規格基準第三器具及び容器包装Dの2の(1)及びDの2の(2)の4.による。
(平成18年3月31日付厚生労働省告示第201号改正)

脚注

※1 使用温度; 100℃を超える

備考: 昭和34年12月28日付厚生省告示370号による。

----- 以下余白 -----

付記事項は本会が証明する事項ではありません。

本成績証明書の内容を他へ掲載する場合は本会の承認を得てください。

本部 03(3522)2338(代) 仙台 022(249)6878(代) 東京 03(3522)2331(代) 横浜 045(201)7031(代) 清水 054(353)0181(代)

神戸 078(302)7771(代) 福岡 092(291)9851(代)